

現場実習壮行会でのお話

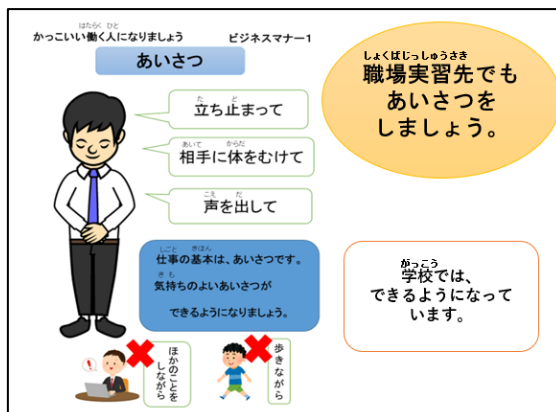
7月3日（金）には、高等部の2・3年生の現場実習に向け、現場実習壮行会を行いました。

『働く人』になるという目標をもって実習し、自分の課題を見つけたり、解決できるように支えたりしていきたいと思えます。実習先として受け入れてくださる事業所の皆様、ありがとうございます。

「校長先生のお話」は、『働く人』として基本的なことです。



先生からは、働く人ために大切なことを、3つお話しします。



働くときには「あいさつ」がとても大切です。みんなは、学校ではできるようになっているので、実習先でもあいさつをしてください。気持ちの良い人だねと言われますよ。



髪がはねていたり、しわしわの服を着ていたり。では、このお姉さんはどうですか。働くときは、身だしなみも大切です。鏡を見て「髪はどうか」「袖のボタンは留まっているかな」と確かめてください。一人では難しい人はお家のひと、家族に聞いてください。



3つ目は、遅刻や寝坊。時間を守って
ください。仕事の始まり、休憩時間、
終わりの時間を守って、早め早めに動
いてください。



大人もつい忘れがちな基本的なことで、自分にも言い聞かせながらお話をしました。

最後に「守れそうですか」と問うと「はい！」と気持ちの良い返事が返ってきました。

初日は雨の現場実習です。2週間の実習中、『働く人』としてたくさんのお話を学ぶと思います。